

豊田市火災予防規則（昭和50年規則第3号）新旧対照表【一部抜粋】

現行	改正後
	<p>(公表の対象となる防火対象物及び違反の内容)</p> <p>第5条の7 条例第53条の8第1項に規定する公表の対象となる防火対象物は、消防法施行令（昭和36年政令第37号）別表第1（1）項から（4）項まで、（5）項イ、（6）項、（9）項イ、（16）項イ、（16の2）項及び（16の3）項に掲げる防火対象物で、法第17条第1項の政令で定める技術上の基準又は条例で定める技術上の基準に従って屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備を設置しなければならないもののうち、法第4条第1項に規定する立入検査においてこれらの消防用設備等が設置されていないと認められたものとする。</p> <p>2 条例第53条の8第1項に規定する公表の対象となる違反の内容は、前項の防火対象物に屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備が設置されていないこととする。</p> <p>(防火対象物の公表の手続)</p> <p>第5条の8 条例第53条の8第1項の公表は、前条第1項の立入検査の結果を通知した日から14日を経過した日において、なお、当該立</p>

入検査の結果と同一の違反の内容が認められる場合に、当該違反が是正されたことを確認できるまでの間、豊田市ホームページへの掲載により行う。

2 前項に規定する方法により公表する事項は、次に掲げるものとする。

(1) 前条第2項に規定する違反が認められた防火対象物の名称及び所在地

(2) 前条第2項に規定する違反の内容（当該違反が認められた防火対象物の部分を含む。）

(3) その他消防長が必要と認める事項